

ライフラインの被害

【電気】

地区	停電期間	復旧状況など
全域で停電	9月6日～9月8日	土砂崩れなどにより立ち入りが困難な地域を除き、9月8日までに停電解消

【水道】

地区	断水戸数	断水期間	復旧状況など
厚真地区	1,188戸	9月6日～10月9日	・富里浄水場の損壊、水道管の破損による断水 ・土砂崩れなどで立ち入り困難な地区を除き、10月9日までに断水を解消
上厚真地区	753戸	9月6日～9月24日	

【道路】

種別	規制数	通行止め期間	被害・復旧の状況
国道	なし	—	—
高規格道路	1路線	9月6日～9月9日	高規格道路の路面破損
道道	5路線	9月6日～11月13日	土砂崩れ等3路線、橋梁破損2路線
町道	25路線	9月6日～9月28日	土砂崩れなどにより立ち入りが困難な4カ所をのぞき、通行止め解除

【公共交通機関】

種別	路線・事業者	被害・復旧の状況
鉄道	JR日高線 (勇払～浜厚真)	・軌道変位・橋梁の桁ずれ ・運行休止期間：9月6日～11月18日 ・11月18日までに復旧工事完了 ・11月19日から徐行運転により運行再開 ・令和元年8月6日から徐行運転を解除
バス	あつまバス	・運行休止期間：9月6日～9月7日 (道道10号線土砂崩れのため通行止め) ・9月8日から千歳線・苫小牧線迂回による運行再開 ・9月18日から全線迂回による運行再開
ハイヤー	あつまバス	・9月10日から運行再開
循環バス	めぐるくん	・9月10日から運行再開(通行止め区間を除く)

地震の回数 (震度3以上の地震回数：平成30年9月6日～平成31年3月31日)

観測点	震度7	震度6強	震度6弱	震度5強	震度5弱	震度4	震度3	合計
京町	0	1	0	0	1	4	16	22
鹿沼	1	0	1	0	2	18	38	60

【出典】気象庁ウェブサイト(震度データベース検索)

人的被害 (令和3年1月31日現在)

死者	負傷者		
	重傷	中等症	軽傷
37名(災害関連死1名を含む)	0名	0名	61名

建物被害 (令和3年1月31日現在)

	全壊	大規模半壊	半壊	一部損壊	合計
住家	235棟	70棟	267棟	1,096棟	1,668棟
非住家	687棟	160棟	509棟	816棟	2,172棟

火災

種別	非住家
件数	2件
焼損面積	77.23m ²

主な公共施設等の被害

施設名	場所(地区)	主な被害
富里浄水場	富里	土砂流入、配水池階段室の倒壊、配水管の断裂など
高齢者生活自立支援センター「ならやま」		土砂崩れによる流失
旧みつば保育園		
吉野生活会館	吉野	
厚真中学校	新町	屋外運動場・野球場の地割れ
旧鹿沼小学校	鹿沼	亀裂、地割れ
表町公営住宅2号棟	表町	渡り廊下の破損
厚真町スポーツセンター	本郷	

避難指示（緊急）・避難勧告

【避難指示（緊急）】

地区	発令目的	対象世帯・人数	発令日時	解除日時
東和	土砂災害の危険性	1世帯・3人	9月11日14:00	9月18日18:00
宇隆	土砂災害の危険性	2世帯・5人	9月11日14:00	9月18日18:00
新町	土砂災害の危険性	3世帯・4人	9月13日12:56	10月14日9:00
新町	土砂災害の危険性	2世帯・3人	9月13日17:00	10月13日9:00
吉野	土砂災害の危険性	8世帯・15人	9月23日18:00	11月8日9:00

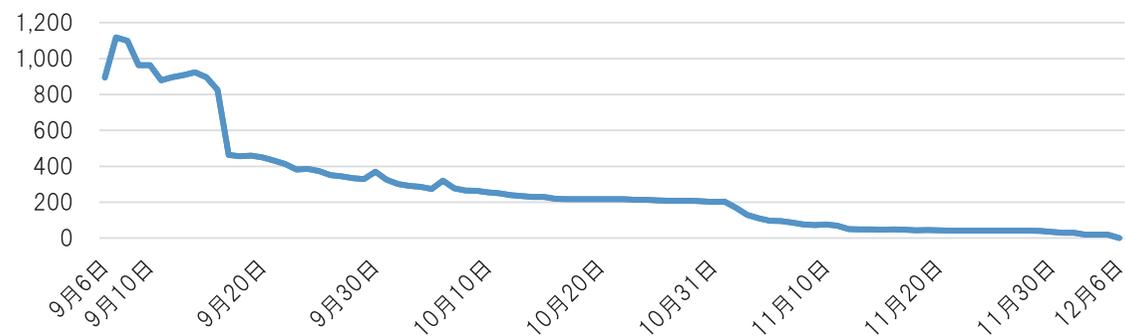
【避難勧告】

地区	発令目的	対象世帯・人数	発令日時	解除日時
新町	土砂災害の危険性	7世帯・17人	9月9日16:00	10月8日9:00
新町	土砂災害の危険性	2世帯・3人	9月13日12:56	10月11日8:00

避難所の状況

施設	最大避難者数	開設期間
総合福祉センター	633人	9月6日～12月6日
スポーツセンター	140人	9月6日～12月6日
厚真中央小学校	160人	9月6日～11月7日
厚真中学校	136人	9月6日～11月7日
厚南会館	130人	9月6日～10月24日
上厚真小学校	43人	9月6日～11月5日
鹿沼マナビィハウス	23人	9月6日～11月30日

〔避難者数の推移〕



農林水産業の被害

【農業】

区分	被害状況等
農地	95カ所 155.31ha
農業用施設	69カ所
農業機械・施設	183戸
共同利用施設	8カ所
その他	国営勇払東部地区かんがい排水事業 厚真ダム(頭首工1カ所・揚水機1カ所・導水路18.2km)

【林業】

区分	被害状況等
林道	15路線(大規模な山腹崩壊等により林地、林道の破損などが発生)
森林	3,160ha

【港湾】

区分	被害状況等
漁港	苫小牧港東港区厚真地区(L=110.0m)：法線迫り出し、アスファルト舗装ひび割れ (東港区) 苫小牧港東港区厚真地区(L=605.22m)：法線迫り出し

※苫小牧港湾事務所調べ

【水産関連施設】

区分	被害状況等
鶴川漁協施設(厚真地区)	漁船用燃料給油施設の漏洩・土壌汚染

商工業の被害

区分	被害内容
商業	建物(9件)、機械設備・什器備品等(14件)、商品・原材料製品等(13件)
工業	建物(1件)、機械設備・什器備品等(6件)、商品・原材料製品等(2件)
その他	機械設備・什器備品等(47件)

被害金額

被害対象	被害金額
公共土木施設(道路、河川、橋梁、上下水道)	188億円
農業関係(農地、農業用施設、共同利用施設)	110億円
林業(林道、森林被害)	458億円
その他(商工業、宅地堆積土砂、災害廃棄物等)	67億円
合計	823億円

※国、北海道が実施する事業は含まない

関係機関等からの応援派遣（平成30年12月31日現在）

支援機関等		延べ人数	支援内容等	
国	国土交通省	北海道開発局	リエゾンの派遣、ダム・河川対策、河道閉塞対策、砂防対策、タイムライン策定・運用、給水支援等	
		気象庁	JETTの派遣、防災気象情報提供、タイムライン策定・運用等	
	総務省	北海道総合通信局	移動電源車、簡易無線機、ラジオ、臨時災害放送局用設備通信機器貸与、情報収集用ラジオの貸与等	
	厚生労働省		DMAT(災害時医療)・DPADの派遣(心のケア等)、保健師の派遣	
	環境省		災害廃棄物現地支援チームの派遣	
北海道内		北海道	6,480人	リエゾンの派遣、避難所運営、り災証明書交付
		道内市町村	1,530人	土木・上下水道技術支援、応急水道、物資・環境業務
対口支援等		青森県	1,337人	災害対策本部運営支援、避難所運営支援(運営アドバイス、運営支援等)、り災証明証書交付業務支援
		山形県		
		福島県		
警察			7,400人	人命救助、交通対策、治安維持 ※北海道警察から約3,800人、道外から特別派遣として約3,600人が厚真町を含め、道内における救助・救出、交通対策、治安維持に従事
消防			4,669人	緊急消防援助隊(秋田、青森、岩手、宮城、東京都)の派遣、人命救助・救護、
自衛隊	陸上自衛隊	14,359人	人命救助、道路啓開、給水・入浴・給食・輸送支援	
	航空自衛隊		人命救助、道路啓開、給水支援	
	海上自衛隊		物資供給・入浴・給食支援	
合計			30,165人	

※支援者の人数が判明している機関のみ記載

仮設住宅等

区分		最多世帯数	最多人数
建設型仮設住宅	プレハブ住宅	127世帯	289人
	トレーラーハウス	8世帯	17人
借上型仮設住宅(みなし仮設住宅)		18世帯	30人
公営住宅一時使用		27世帯	63人
トレーラーハウス(町)		3世帯	7人
福祉仮設住宅(厚真地区1箇所)		—	108人
合計		183世帯	514人

教育機関の再開

学校名		授業再開日
小学校	厚真中央小学校	9月18日
	上厚真小学校	
中学校	厚真中学校	
	厚南中学校	
高等学校	北海道厚真高等学校	

災害廃棄物処理の状況

【災害廃棄物処理業務】

事業費	18億9,867万円	主な廃棄物	がれき(コンクリート・アスファルト)	10,217t
処理量	22,750t		木くず(解体木)	3,896t
			混合廃棄物(鉄くず等)	5,794t

【被災家屋等解体業務】

	全壊	大規模半壊	半壊	合計
公費解体	148棟	14棟	46棟	208棟
自費解体	3棟	0棟	3棟	6棟
合計	151棟	14棟	49棟	214棟

ふるさと納税（代理受付）

8団体	北海道、北海道余市町、北海道白糠町、茨城県、茨城県境町、埼玉県深谷市、東京都世田谷区、福岡県大木町
-----	---

主な支援制度等

主 体	制 度 等
生活支援・弔慰金等	国 被災者生活再建支援制度
	北海道 災害弔慰金
	厚真町 災害弔慰金・災害障害見舞金
住まい・施設等に関する支援	国 被災代替家屋の特例(固定資産税)、被災代替償却資産の特例(固定資産税)
	北海道 住家被害見舞金
	厚真町 厚真町住宅復旧支援事業補助金、厚真町住宅再建融資利子助成、厚真町リバースモーゲージ利子助成、住宅リフォーム補助金、厚真町持ち家住宅建築促進支援助成金、一部損壊以上の家屋等の解体費補助、飲用井戸等給水施設整備事業補助金、農業用井戸等給水施設整備事業補助金
	その他 災害復興住宅融資、住宅ローンの返済(自然災害債務整理ガイドライン)
減免等による支援	個人の町民税の減免、固定資産税の減免、令和元年度分の解体家屋にかかる税金の減免、国民健康保険料の減免、後期高齢者医療保険料の減免、地震により汚損、紛失した自動車運転免許証の再交付手数料、町が発行する各種証明の発行手数料の免除、国民年金保険料の減免、児童扶養手当の停止解除、医療機関受診時の一部負担金免除(国民健康保険・後期高齢者医療保険)、飲用井戸の水質検査・手数料補助、介護保険料の減免、開発許可申請等手数料の免除

義援金・支援金（令和3年1月31日現在）

区 分	金 額
町災害義援金	8億7,959万円
北海道災害義援金	6億1,750万円
支援金	2億339万円

災害ボランティアの活動状況

設置日	平成30年9月7日～令和2年12月31日	
運 営	運営主体：厚真町社会福祉協議会 協力機関：北海道社会福祉協議会、道内各市町村社会福祉協議会、北海道JC、北海道、北海道社会福祉士会など	
主な活動内容	【災害ボランティアセンターの活動内容】 ・各戸チラシポスティング ・避難所の清掃 ・家財の運搬・整理・清掃 ・災害ごみ運び出し・運搬 ・トタン直し等家屋の補修 ・託児支援補助 ・支援物資運搬・仕分け・整理 ・家屋・納屋等の片付け ・炊き出し支援 ・サロン・つどいの開催支援 ・仮設住宅引越し支援 ・郷土資料片付け・整理 【外部団体(NPO等)と連携した支援】 ・倒壊家屋等からの家財、貴重品等の取り出し ・災害ボランティアセンター運営支援(受付、調査、相談、資材管理) ・エゾシカ侵入防止柵設置支援 ・炭窯再建プロジェクト ・地域の神社の修理、技術支援 ・専門職によるニーズ調査(医療・福祉)	
ボランティア活動概況	延べ5,504人	1,229件
社会福祉協議会からの派遣	市町村社会福祉協議会派遣：延べ399人(41団体) 北海道社会福祉協議会派遣：延べ40人 ※平成31年3月31日現在	

復旧事業の進捗状況（令和3年1月31日現在）

区 分	事業数	発 注		完 了		完了年月 (予定)
		事業数	発注率	事業数	完成率	
河 川	60	60	100.0%	43	71.7%	R4.3
道 路・橋 梁	175	175	100.0%	173	98.9%	R4.3
公 園	5	5	100.0%	5	100.0%	R1.10
治 山	142	92	64.8%	73	51.4%	R6.3
砂防・急傾斜	12	12	100.0%	10	83.3%	R3.3
宅地堆積土砂	6	6	100.0%	6	100.0%	R2.3
簡易水道施設	5	5	100.0%	5	100.0%	R2.11
下 水 道	4	4	100.0%	4	100.0%	R2.3
宅地耐震化	2	2	100.0%	0	0%	R6.3
農 地	86	86	100.0%	85	98.8%	R2.5
農業用施設	62	62	100.0%	62	100.0%	R2.3
林 道	28	24	85.7%	24	85.7%	R4.3
合 計	587	533	90.8%	490	83.5%	—

※北海道と町事業の合計